

せんそうのはてな

八重瀬町立白川小学校二年 當間 稀子

いもうとをむかえにいくみち
わたしがだいすきなみち
サトウキビがカサカサゆれて
みんなでおしゃべりしているみたい

にげるときはこわかったし
おうちがこいしかった
とおしえてくれた

ある日おとうさんが言った
じいちゃんはこのみちをにげてきたのかな

じいちゃんとわかれるときのいつものタッチ
その日は13さいのじいちゃんともタッチした

わたしはおどろいた
じいちゃんはこのみちでおにごっこをしたの
それともいたずらをしてにげたの

せんそうのことをかかんがえると
わたしのあたまはやっぱりはてな
このはてなはいつかはなくなるのかな
そのときわたしはおとなになってるのかな
そのときせんそうをしていないといいな

むかしせんそうがあつて
じいちゃんはにげまわっていたんだよ
おとうさんがおしえてくれた

わたしのあたまははてなでいっぱいになった
せんそうってなに
せんそうでなぜじいちゃんはにげたの
せんそうって今もあるの
せんそうはまたおこるの
せんそうになったらわたしもにげるの

はてながどんどんふくらんでいつて
わたしはこわくなった
じいちゃんはこわくなかったのかな

じいちゃんにせんそうのことをきいた
じいちゃんは13さいだった
あかるいうちははてなにみつかるので
くらいよるにげた